

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)の運用状況

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)

追加型投信／国内／株式

2019年11月25日

- 「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」(以下、当ファンド)の主要投資対象である優良好配当・日本株式マザーファンド(以下、マザーファンド)は、11月19日から組入銘柄の見直しと組入比率の調整を行い、流動性の低い銘柄の売買を除いて概ね完了しました。
- 当レポートでは、足元のマーケット動向、組入銘柄の紹介、リバランス状況について、ご報告します。

【最近のマーケット動向】

当ファンドの設定後、国内株式市場は上昇しました。

10月上旬は、米ISM製造業景況指数の低下から景気後退への懸念が強まり、国内株式市場は、前月末の水準を下回って推移しました。中旬に入ると、米中が通商に関する閣僚級協議で部分的合意に達したことや、英国の合意なき欧州連合(EU)離脱が回避されるとの観測などから、投資家のリスク回避の姿勢が後退し、国内株式市場は上昇に転じました。為替が円安傾向に転じたことも影響し、企業業績の底入れ期待が高まり、国内株式市場は景気敏感セクター中心に月末まで上昇基調が継続しました。

11月に入ると、米中が関税の一部を段階的に撤廃することを検討しているとの一部報道や良好な米国雇用指標を背景に、米国主要株価指数が史上最高値を更新したことにつられ、国内株式市場も一段高となりました。その後、米中通商協議への期待が剥落し、軟調な展開となりました。

【銘柄紹介：ダイセル(4202)(業種:化学)】

予想配当利回り：3.14%(2019年11月20日時点)

記念配当：2円(期末配当予想16円に上乗せ)

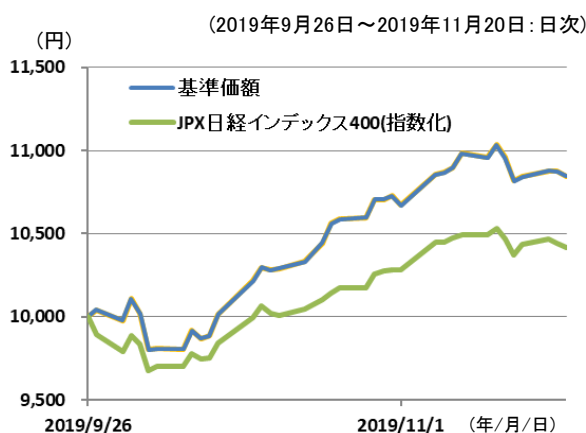
自社株買い：200億円(2019年11月～2020年7月)

ダイセルはセルロース化学、有機合成化学、高分子化学などの化学メーカーです。たばこ用フィルターや自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)で高シェアを誇ります。代表的な製品の酢酸セルロースの用途は多岐に渡ります。メガネフレーム、写真フィルム、化粧品、コーティング用塗料などに使われ、今後も大きな可能性を秘めていると言われています。

2019年11月1日に発表した2020年3月期の上期決算では、営業利益が前年同期比39.5%減と大幅に落ち込みました。エアバッグ用インフレータの事業において、他社リコール代替品供給の終息により、販売数量が減少したことが大きな要因です。

しかし同時に、積極的な株主還元策も発表しました。まず今年度に創立100周年を迎えたことで、期末配当において1株当たり2円の記念配当を上乗せします。さらに今後の自己資本比率の見通しを勘案し、200億円の自社株買いも公表しました。これらが市場で好感され、発表後の株価は急上昇しました。

設定来の基準価額と主要株価指数の推移



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

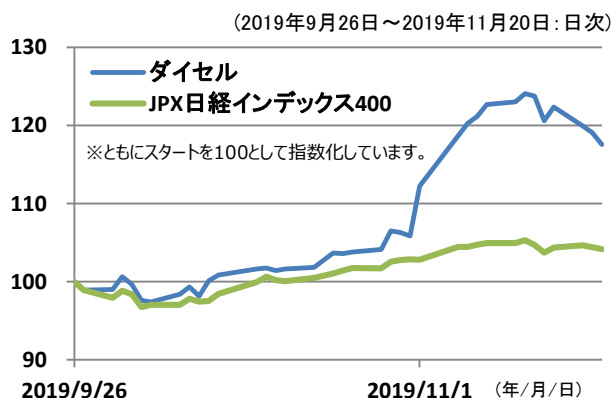
※基準価額は設定日前営業日を1万口当たりの当初設定元本として載せています。

※JPX日経インデックス400は参考指数であり、ファンドのベンチマークではありません。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

ダイセルの株価とJPX日経インデックス400の推移



※ともにスタートを100として指数化しています。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

当ポートフォリオ構築プロセスには、財務が健全で、増配・自社株買い期待が高い銘柄に絞る過程があります。

本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

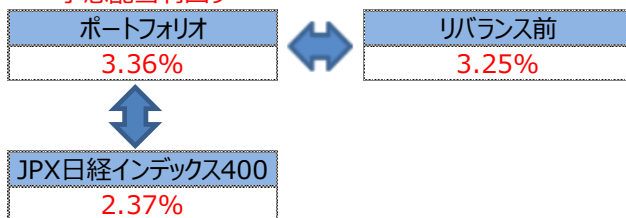
優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

【リバランス実施状況】

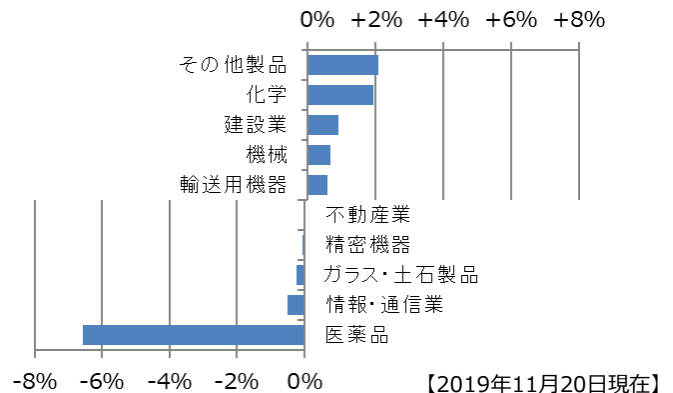
11月18日に取得した財務データや予想配当利回りデータに基づき、19日から組入銘柄の入替えと投資比率の調整を行いました。20日現在で、流動性の低い銘柄の売買を除いて概ね完了しています。

この結果、その他製品、化学、建設業などの組入比率が上昇した一方、医薬品の組入比率が大きく低下しました。組み入れていた医薬品株の株価が大きく上昇し、配当利回りが下がったことが要因です。ポートフォリオの予想配当利回りは、リバランス前の3.25%から、リバランス後は3.36%へ0.11%上昇しました。

予想配当利回り



業種別構成比の変化



※グラフは組入業種のマザーファンドの純資産総額に対する比率の変化を表し、変化幅上位・下位5業種のみを示しています。

※ポートフォリオの予想配当利回りは、組入銘柄の加重平均です。

※リバランス前のポートフォリオを保持した場合と、実際のポートフォリオを比較したものです。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

ファンドの状況

【2019年11月20日現在】

マザーファンド	
株式組入比率	96.3%
短期金融商品その他	3.7%
組入銘柄数	50 銘柄
予想配当利回り(加重平均)	3.4%
JPX400利回り(加重平均)	2.4%

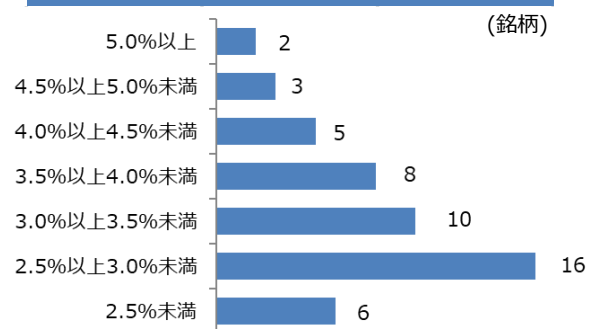
優良好配当・日本株式ファンド	
基準価額	10,820 円
残存元本	10,602,584,064 円
純資産総額	11,472,339,003 円
マザーファンド組入比率	99.5%
実質株式組入比率	95.8%
短期金融商品その他	4.2%

※基準価額は1万口当たり

組入株式の上位10業種		
順位	業種名	組入比率
1	建設業	19.6%
2	電気機器	13.5%
3	輸送用機器	11.7%
4	化学	11.7%
5	情報・通信業	7.9%
6	サービス業	7.9%
7	機械	4.4%
8	ガラス・土石製品	3.9%
9	精密機器	3.8%
10	その他製品	2.0%

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

予想配当利回り分布



(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

【2019年11月20日現在】

マザーファンドの組入銘柄一覧

	銘柄コード	銘柄名	業種		銘柄コード	銘柄名	業種
1	1719	安藤・間	建設業	26	5975	東プレ	金属製品
2	1720	東急建設	建設業	27	6113	アマダホールディングス	機械
3	1801	大成建設	建設業	28	6432	竹内製作所	機械
4	1808	長谷工コーポレーション	建設業	29	6448	ブラザー工業	電気機器
5	1812	鹿島建設	建設業	30	6463	TPR	機械
6	1821	三井住友建設	建設業	31	6503	三菱電機	電気機器
7	1861	熊谷組	建設業	32	6641	日新電機	電気機器
8	1878	大東建託	建設業	33	6724	セイコーエプソン	電気機器
9	1951	協和エクシオ	建設業	34	6728	アルバック	電気機器
10	1959	九電工	建設業	35	6877	OBARA GROUP	電気機器
11	2121	ミクシィ	サービス業	36	6902	デンソー	輸送用機器
12	2124	ジェイ・エイ・シー・リクルートメント	サービス業	37	6988	日東電工	化学
13	3116	トヨタ紡織	輸送用機器	38	7202	いすゞ自動車	輸送用機器
14	3738	ティーガイア	情報・通信業	39	7261	マツダ	輸送用機器
15	4182	三菱瓦斯化学	化学	40	7270	SUBARU	輸送用機器
16	4202	ダイセル	化学	41	7313	テイ・エス テック	輸送用機器
17	4204	積水化学工業	化学	42	7606	ユナイテッドアローズ	小売業
18	4206	アイカ工業	化学	43	7717	ビー・テクノロジー	精密機器
19	4246	ダイキョーニシカワ	化学	44	7731	ニコン	精密機器
20	4521	科研製薬	医薬品	45	7751	キヤノン	電気機器
21	4704	トレンドマイクロ	情報・通信業	46	7867	タカラトミー	その他製品
22	4732	ユー・エス・エス	サービス業	47	9201	日本航空	空運業
23	5108	ブリヂストン	ゴム製品	48	9404	日本テレビホールディングス	情報・通信業
24	5301	東海カーボン	ガラス・土石製品	49	9437	NTTドコモ	情報・通信業
25	5393	ニチアス	ガラス・土石製品	50	9744	メイテック	サービス業

※赤字は今回のリバランスで新たに組み入れた銘柄

JPX日経インデックス400の著作権等について

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所（以下、総称して「JPXグループ」といいます。）並びに株式会社日本経済新聞社（以下、「日経」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。

「JPX日経インデックス400」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て「JPXグループ」及び「日経」に帰属しています。

当ファンドは、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、「JPXグループ」及び「日経」は、その運用及び当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

（作成：運用本部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.364%（税抜1.24%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)